

NVivo 8 機能一覧

NVivo 8 で、Word や PDF ドキュメント、音声ファイル、動画やデジタル写真をインポートして作業できるようになりました。NVivo 8 はどのような資料、プロジェクトおよび背景であってもすべての方にお使いいただける - 最高のプロジェクトパートナーです。

NVivo のプロジェクト

- NVivo 7、NVivo 2、NVivo 1、N6 (NUD*IST 6)、N5、N4 を含む QSR の旧バージョンで作成されたプロジェクトを開いて作業できます。
- 日本語のような文字ベースの言語を含め、ほとんどすべての言語で使用できます。
- 英語、日本語、中国語、スペイン語のユーザインタフェースを選択して作業することができます。
- 少ないデータから 10,000 ものドキュメントといった大量のデータまで処理することが可能です。
- 個別のプロジェクトをマージしたり、既存のプロジェクトの構造を利用したりして新規プロジェクトを作成できます。
- プロジェクトデータとドキュメントを 1 つのファイルに保存したり、サイズの大きなメディア ファイルを別に保存して、それらをリンクしたりすることができます。
- 「プロジェクトをコピー」機能を使用してプロジェクト全体のバックアップコピーを作成できます。

- NVivo のサンプルプロジェクトでシンプルなプロジェクトの操作方法を確認できます。
- PDF 版のヘルプファイルを印刷して、読みながら各操作を行えます。

すぐれたユーザビリティ

- 作業に合わせてユーザインタフェースを再配置できます。ウィンドウをドックしたり解除したりして、ツールバーを表示 / 非表示にしたり、アイコンをツールバーに追加や削除したりできます。
- ナビゲーションビューでは、すべてのプロジェクトアイテムを整理し、それらのアイテムにアクセスできます。
- たとえばサムネイルやリストなど、フォルダ内にあるほとんどのプロジェクトアイテムをどのように表示させるか選択できます。
- メニューは状況依存になっているため、操作中のアイテムやビューに応じて変化します。「ドラッグ&ドロップ」でデータを簡単に移動できます。
- ユニークなマルチレベルの「元に戻す」機能を使用して元にもどることができるので、安心してデータを「ドラッグ&ドロップ」することができます。NVivo は、データに反映させたいすべての操作に「元に戻す」機能を使用できる、唯一の定性調査ソフトウェアです。

NVivo 入門

ラーニング リソースに接続する

- NVivo と共にインストールされるオフラインヘルプや、インターネット接続環境で作業している場合は、最新のオンラインヘルプを利用できます。ヘルプは「NVivo を使用する」および「データを操作する」の大きく 2 部で構成されています。
- ヘルプメニューで動画チュートリアルや「NVivo 入門」を利用できます。
- 「NVivo を使用する」内の「mini show me movies」を見て、ひとつひとつの操作の実演をみることができます。
- 実行している操作によってヘルプの情報は変化します。状況に応じて、関連するヘルプを確認できます。

情報のインポート、作成、編集

- Word (.doc、.docx)、PDF (.pdf)、リッチテキスト (.rtf)、テキストフォーマット (.txt)、の各形式のドキュメントをインポートできます。
- mpg、mpeg、mpe、wmv、avi、mov、.mp4 または .qt 形式の動画ファイルやメディアクリップをインポートできます。
- mp3、.wma、.wav 形式の音声ファイルをインポートできます。
- .bmp、.gif、.jpg、.jpeg、.tif、または .tiff 形式といったデジタル写真や画像をインポートできます。
- 簡単な「ドラッグ&ドロップ」をはじめ、さまざまな方法で、ファイルをインポートできます。
- NVivo に直接独自のドキュメントを作成できます。
- コーディングしたものを保持しながら、インポートしたドキュメントを編集できます。

情報を操作する

音声および動画を操作する

- NVivoで普通のメディアプレイヤーと同様に、音声および動画を視聴できます。
- 音声と動画のファイルを、詳細に見直したり分析したりできます。再生速度の変更、セクションの繰り返し、巻き戻しやスキップなどを、さまざまな秒間隔で行うことができます。
- 対応する音声や動画ファイルに、既存のトランスクリプトをインポートしたり、リンクしたりできます。
- 音声や動画ファイルの再生と同時に、トランスクリプトをスクロールして見ることができます。
- リンクさせたトランスクリプトをクリックして、関連する動画や音声のセクションを立ち上げることができます。

トランスクリプト

- 音声や動画ファイルから直接分析する資料へ移動できます。NVivoでは、トランスクリプト以外の方法で、メディアファイルを分析できます。
- トランスクリプトは、音声や動画ファイル全体、ファイルのセクションに対して作成できます。またはNVivoでのキーワードのみとしても作成できます。
- たとえば「ボディランゲージ」列など、トランスクリプトをカスタマイズして追加できます。
- 独自の「ログ」を作成したり、NVivo内の画像全体や特定のセクションの説明を作成したりできます。

整理と分類

- ノードを階層構造で整理すると、データへアクセスしやすくなります。
- 「集合」を使用して、異なったタイプのプロジェクトアイテムをまとめて、グループ化できます。たとえば、同僚の動画とメモを「集合」にすることができます。
- たとえば、「集合」に配置したアイテムを再配置して、イベントの順序を表示するために使用できます。
- 「属性」を使用して、性別、年齢、地域といった人口統計データを使用してケース同士を比較できます。
- 「ケースブック」を使用してプロジェクトケースのリストとその値を参照することができます。
- 「外部ソース」またはプロキシソースを利用して、ウェブサイトや書籍など、インポートできない資料を表示できます。
- デジタル写真が撮影された時間や日付のようなプロパティをインポートして作業できます。

- 「参照リンク」を使用して、プロジェクト内でテーマが類似している可能性のあるアイテムに接続することができます。

考えを書き留める

- 観察結果を書き留めたメモを作成して、資料にリンクできます。
- 「注釈」を使用すると、余白にメモを書き込むように、選択したコンテンツにコメントを付けることができます。

情報を理解する

コード

- ノードでコードしたドキュメント、画像、動画、音声ファイル、テーマ、アイデア、人々や場所など「集合」を含んだ関連資料を収集できます。いつでもコーディングを絞り込んだり、削除したりできます。
- コーディングストライプを使用して、ドキュメント、画像、動画、音声ファイル内のコーディングを視覚的に表示できます。どのストライプで表示するか選択し、最大 200 本のストライプを表示できます。コーディングストライプは、印刷することもできます。
- 性別や年齢などでコーディングした人口統計の情報を、コーディングストライプで確認できます。
- コーディングを行うとコーディングストライプは自動的に更新されます。
- 「コーディング密度バー」でプロジェクトソースのコーディングがどのくらい行われたか確認できます。
- アンケート形式の回答のような、構造化されたデータを分析している場合、コンテンツの見出しまたは段落で「自動コード」できます。NVivoでは、Microsoft Word ドキュメントのスタイルを、そのまま保存して使用できます。
- トランスクリプトをカスタマイズして、話し手の名前などの列を追加すると、「自動コード」で話者ごとのコメントがコードされた新しいノードを作成できます。
- 「コンテキストを表示」を使用して、コードしたテキストの周囲の語や段落だけでなくコードしたすべての資料のコンテキスト（写真、音声または動画ファイルなどの周囲の一部）を確認できます。
- 段落コードなど素早いコーディング方法や「Vivo でコーディング」など、さまざまな技術でコードできます。

調査する

- 「モデル」を使用して、新しいアイデア、関連性や結論を視覚的に表示できます。「動的」モデルで、プロジェクトをリアルタイムで表現できます。「静的」モデルでは、ある特定の時点におけるプロジェクトの状態を表現できます。

- 独自の「関係」ツールを使用して、アイテム、プロセスや人々の関係についての証拠を参照できます。
- NVivo 内で二次元または三次元スタイルのカラム、パイ、棒、「チャート」の作成および検索が可能です。NVivo 内にヒートマップ、レーダーチャートなど、特殊な「チャート」も作成できます。
- 「行列」を使用して、アイテムの比較およびパターンやテーマの特定ができます。

検索する

- 高性能のサーチエンジンでデータを検索できます。クエリを保存して、新規データで再び実行し、結果の進展を追跡できます。
- 「頻出語クエリ」を使用すると、選択したソースやノード内で出現頻度の高い単語を表示できます。テキスト検索やコーディング検索をはじめとする、さまざまな検索が可能です。
- 「高度な検索」を使用して、アイテムを取りまとめることができます。
- インタビュートランスクリプトなど、「ソース」内のテキストの検索や置換が可能です。

チームで効果的に作業する

- 個別のプロジェクトをまとめてマージした後でも、各メンバによって作成された特定のコーディング、注釈、リンクを確認できます。
- どのチームメンバが最初にプロジェクトアイテムを作成したか、および誰が最後に変更したかを確認できます。
- チームメンバのひとりがコードしたノードのコンテンツを確認したり、表示を広げて何人かのチームメンバを確認することもできます。
- 「検索」ツールを使用して、特定のチームメンバが作成した、または最後に変更したプロジェクトアイテムを検索することができます。
- チームメンバで完成させた作業に「クエリ」を実行できます。たとえば、1人のチームメンバによりコードされたすべてのコンテンツを検索することが可能です。結果をクリックしてオリジナルのソース資料を開き、チームメンバのコーディングストライプを確認できます。
- 「コーディング比較クエリ」を実行し、チーム間の一致パーセンテージや不一致パーセンテージを確認できます。クエリを使用して「カッパ係数」とよばれるコーディングの信頼度を測定できます。
- コーディングストライプを使用して、異なったユーザによって完成したコーディングの確認と比較ができます。

結果を共有する

- モデル、チャートやクエリの結果をMicrosoft Word、Excelを含めたレポートやプレゼンテーションにエクスポートできます。
- チャートなどの情報をPDFにエクスポートできます。
- プロジェクトファイルと結果をHTML ウェブページとしてエクスポートし、NVivoユーザ以外とも共有できます。ノードで収集した情報を共有したり、音声ファイル、動画やドキュメントの一部分などの特定のプロジェクトアイテムだけをエクスポートできます。
- データをエクセルシートや統計プログラムで使用するためにインポートやエクスポートできます。
- プロジェクトサマリ、ソースサマリ、ノードサマリ、関係サマリ、コーディングサマリなどの幅広いレポートを作成できます。

NVivo 8 の管理機能

- 新しいサービスパックがリリースされると自動的に知らせが届きます。数回クリックするだけで、インターネット経由の無料ダウンロードが可能です。
- Readme ファイルで最新の強化機能リストおよび、そのほかの重要な情報を確認できます。
- 「最適化と修復」機能を使用して、プロジェクトのパフォーマンスを最適化することができます。
- MSI パッケージ経由で複数のコンピュータに NVivo 8 ソフトウェアおよびライセンスをインストール、アクティベートや延長を行えます。
- アクティベーションとその解除で、組織のソフトウェアライセンスを著作権侵害から保護します。
- 組織全体の管理については、『NVivo 8 ネットワーク管理者 ガイド』を参照してください。